

岩手県脳卒中予防県民会議 運動方針

1 取組方針

平成 27 年の人口動態統計特殊報告において、本県の脳卒中による年齢調整死亡率(※)は、平成 22 年の前回調査に比べて男女とも減少していますが、都道府県順位では、男性が全国ワースト 3 に改善したものの、女性は前回同様ワースト 1 となっており、引き続き対策を推進していく必要があります。

脳卒中は、がんや心疾患に比べると死亡する割合は低いものの、発症すると多くの場合継続した治療が必要となる状態になるおそれが高い病気です。また、「寝たきり」の最も多い原因ともなっています。

脳卒中の危険因子は多岐にわたることから、その予防策として、生活習慣である栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙及び飲酒等の各種の予防策に総合的に取り組むことが必要です。

さらに、県民一人ひとりが自分たちの問題として継続して取り組み、官民一体となって広く連携・協力して進めていくことが必要です。

このため、県民会議では、脳卒中による死亡率ワースト 1 からの脱却を目指して、当県民会議を構成する全ての団体等が、脳卒中予防のための取組を実践し、その成果を広く県民等にアピールすることにより、県民総参加の運動となることを目指します。

(※) 年齢調整死亡率：人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、死亡率を一定の基準人口（昭和 60 年モデル人口）に当てはめて算出した指標

2 運動スローガン

脳卒中死亡率全国ワースト 1 からの脱却

3 会員の役割

会員は、脳卒中予防に関する意識啓発及び健康づくりを促進するための取組みに努めるものとします。

- (1) 脳卒中死亡率が全国ワースト 1 であることなど会報や広報誌への掲載等による広報活動
- (2) 脳卒中を予防するための十か条（公益社団法人日本脳卒中協会）の実践
- (3) 県や他の会員が主催する関連事業への参加及び共催・後援等の協力など